

## グラフィックアーツ学研究 (IV)

### 序文

2020年3月25日にグラフィックアーツ学研究(Ⅲ)別巻3;全203頁を刊行した。これは国際印刷大学校研究報告創刊号「第1巻」(2001年)から「第20巻」(2020年)までの著者の発表した論文全43報と関連論文4報と合わせて計47報としそれぞれ各6分野別に分類して刊行した。

本書のグラフィックアーツ学研究(Ⅳ)別巻4は国際印刷大学校研究報告以外の印刷メディアに関する学会誌、研究会誌、新聞及び出版社などで発表した主たる論文(2000年~2009年)45報を4分野(①グラフィックアーツ学、②印刷教育論、③画像再現論、④印刷メディア産業)に分類して刊行した。なお、この間に刊行したすべての論文や学会などの発表は最後の頁に「活動一覧」としてまとめた。下記の表を参照。

更に、2010年から2020年までの論文集はグラフィックアーツ学研究(Ⅴ)別巻5として、近く刊行予定である。これらの研究論文集が皆様方に少しでもお役にたてば幸いである。今日まで、いろいろとご指導、ご鞭撻頂きましたことに対し感謝申し上げます。

2020年6月16日

国際印刷大学校学長工学博士 木下堯博

著書; 画像情報の展望~2020年へのアプローチ~(1994年)				
1、印刷画像史; 2、印刷教育論; 3、画像再現論				
4、コンピュータ処理論; 5、画像コミュニケーション論				
6、21世紀の画像情報 (全175頁)				
以下 論文集				
グラフィックアーツ学研究(上巻)(1997年)(64報)				
1、印刷画像史; 2、印刷教育論; 3、画像再現論				
グラフィックアーツ学研究(中巻)(1998年)(46頁)				
4、コンピュータ処理論; 5、画像コミュニケーション論				
グラフィックアーツ学研究(下巻)(1999年)(36報)				
6、21世紀の画像情報				
グラフィックアーツ学研究(別巻1)(2000年)(47報)				
5、画像コミュニケーション論と海外論文				
グラフィックアーツ学研究(別巻2)(2002年)(46報)				
野間賞受賞記念論文集を中心として				
グラフィックアーツ学研究Ⅲ(別巻3)(2020年)(45報)				
国際印刷大学校論文集(創刊号「2000年」~第20巻「2020年」)				
グラフィックアーツ学研究Ⅳ(別巻4)(2020年)(46報)				
論文2000年~2010年に刊行した内容を中心に				
グラフィックアーツ学研究Ⅴ(別巻5)(2020年)(50報)				
論文2011年~2020年に刊行した内容を中心に				

## グラフィックアーツ学研究 (IV)

木下堯博論文集(2000年~2009年)

### 目次

序文(1)

第1章 グラフィックアーツ学

1-1; 人類史上最も偉大な発明(2)

## 一出版・印刷文化へのチャレンジ

- 1-2 ; 本木昌造 130 回忌に寄せて (7)
- 1-3 ; 本木昌造と印刷博物館 (9)
- 1-4 ; 新春インタビュー (10)
- 1-5 ; 2008 年を展望する (13)
- 1-6 ; 世界の経済動向と印刷界 (23)
- 1-7 ; プリントメディアの交流 (30)
- 1-8 ; 印刷業界の IT 化についての今後のあり方 (31)
- 1-9 ; 印刷の国際化と近未来 (36)
- 1-10 ; 持続可能な社会を目指す (37)
- 1-11 ; 印刷産業の今後のあり方 (38)
- 1-12 ; 印刷産業と電子商取引 (41)
- 1-13 ; 近未来の印刷 (45)
- 1-14 ; 21 世紀印刷が変わる (47)

## 第2章 印刷教育論

- 2-1 ; The Virtual University in the World (50)
- 2-2 ; 日韓印刷学术交流 25 年 (第 1, 2 報) (57)
- 2-3 ; 出版メディア系専門職業大学院の設立 (62)
- 2-4 ; 国際印刷産業情報交流会に参加して (64)
- 2-5 ; 韓国印刷学会 2007 (66)
- 2-6 ; 印刷産業と印刷教育 (drupa 2008) (70)
- 2-7 ; 韓国の印刷産業と印刷学会 (71)
- 2-8 ; 印刷技術教育の発展 (77)
- 2-9 ; 日韓印刷共同センターの設立 (80)
- 2-10 ; 印刷教育研究会の進展を期待 (81)
- 2-11 ; 今後の印刷人材教育のあり方 (83)

## 第3章 画像再現論

- 3-1 ; オフセット印刷に於ける高品位画像の展望 (86)
- 3-2 ; 電子商取引の検定と印刷のデジタル化 (90)
- 3-3 ; 高濃度印刷の IPEX2002 からの展望 (91)
- 3-4 ; 高濃度印刷画像に関する研究 (第 4 報) (94)
- 3-5 ; Wood Pattern Reproduction (106)
- 3-6 ; 高濃度印刷画像比較論 (118)

3-7 ; 日韓印刷学術・文化交流27年の展望 (120)

#### 第4章 印刷メディア産業

4-1 ; プリント80とアメリカの大学視察 (121)

4-2 ; drupe2000 と世界の印刷事情 (122)

4-3 ; IPEX2002 と最新のヨーロッパ印刷事情 (128)

4-4 ; 2004年を展望する (141)

4-5 ; 日仏工業技術会創立50周年記念に参加して (143)

4-6 ; プレ drupa2004 (第1報) (144)

4-7 ; IPEX2006 と印刷界の動向 (153)

4-8 ; Print05(シカゴ)とアメリカの印刷産業 (第1報) ((172)

4-9 ; 新時代を築く印刷学術文化交流 (184)

4-10 ; IPEX2006 と印刷界の動向 (186)

4-11 ; drupa2008Report (part9) (192)

4-12 ; drupa2008 最新報告 (第1報~第8報) (207)

4-13 ; JGAS2009 と海外印刷事情 (224~226)

2000年~2009年活動一覧 (227) ~ (243)

あとがき (244)

#### あとがき

drupa2020 が 2020 年 6 月 16 日に開催されるので、長い期間準備を続けてきたが、新型コロナウイルスのため 2021 年 4 月 20 日から 4 月 30 日に延期となり、その機会に向けて、活動が始まった。前回の drup2016 は 2016 年 4 月の熊本地震の支援・調査活動のため、参加を中止したので、今回の drupa2020 には大きな期待をかけていた。

著者にとって各種災害の始めは 1945 年 8 月の B29 による東京下町の空襲で、10 万人以上の人命が失われた。その後、利根川決壊による大水害などの災害を乗り越え、今日まで、印刷メディアに関する活動を行うことが出来た。

木下堯博論文集としてグラフィックアーツ学研究上巻（第 1 章印刷画像史、第 2 章印刷教育論、第 3 章画像再現論）は 1997 年に刊行し、中巻（第 4 章コンピュータ処理論、第 5 章画像コミュニケーション論、1998 年刊）、下巻（第 6 章 21 世紀の画像情報、1999 年刊）を基に、グラフィックアーツ学研究Ⅰ（2000 年刊）、野間賞受賞に際し、グラフィックアーツ学研究Ⅱ（2002 年刊）、グラフィックアーツ学研究Ⅲ（2020 年刊）に続き、今回のグラフィックアーツ学研究Ⅳ（2020 年刊）を刊行することが出来た。

次回は同Ⅴの刊行（2020 年 8 月）を目標に準備をしている。これが人生最後の論文集とにならないよう教育・研究分野で一層活動していく所存です。皆様方のご支援、ご鞭撻の程、お願い申し上げます。

2020年6月16日

国際印刷大学校長  
工学博士 木下堯博  
[www.media-igu.com](http://www.media-igu.com)

グラフィックアート学研究 (IV)

~~~~~

2020年6月16日発行

著者及び発行者 木下堯博

〒811-4163福岡県宗像市自由ヶ丘10-10-8

制作 画像情報研究所

〒189-0002東京都東村山市青葉町2-29-12

~~~~~ (非売品)